

回復期リハビリテーション病棟実績

京都山城総合医療センター

■当該病棟からの退棟患者数

令和5年5月～令和5年6月

20名

■入院患者内訳

脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、脳神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態

4名

高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷

7名

大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態

7名

外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態

2名

大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態

0名

股関節又は膝関節の置換術後の状態

0名

急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態

0名

■実績指数

令和5年5月～令和5年6月

48.8点